

令和4年春の叙勲

3名の方々が叙勲の栄誉

このほど、令和4年の春の叙勲が発表されました。本市からは、瑞宝双光章が2名、瑞宝単光章が1名の合計3名が受章しました。

受章した皆さんをご紹介します。

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

〔防衛功労〕



はたけやま とおる
畠山 達さん
〔田中 61歳〕

昭和54年に陸上自衛隊に入隊以来、北海道・東北・東海などで主に戦車部隊において長く力を発揮したほか、情報担当幹部や教育隊の教官も務め、3等陸佐として退官するまで36年にわたり、わが国の防衛に尽力されました。受章には「妻、子どもたちなど支えてくれた人たちのおかげ。隊員など人間関係にも恵まれました」と話されました。

危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

〔消防功労〕



さとう せい えつ
佐藤 誠悦さん
〔本吉町登米沢 69歳〕

昭和47年に消防本部消防士に就かれて以来、平成24年に本部通信指令課長として退職されるまでの40年にわたり、住民の安心安全のため、災害現場での活躍のほか、東日本大震災で被災した消防施設の早期復旧などに尽力されました。受章には「同僚、家族、地域の皆さんのおかげです。津波で被災した亡き妻へ報告したい」と話されました。

瑞宝単光章

〔消防功労〕

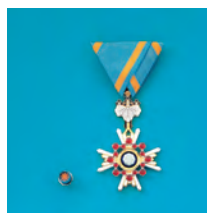


むら かみ たか とし
村上 貴敏さん
〔東八幡前 71歳〕

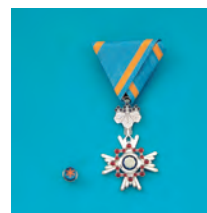
昭和52年に市消防団に入団以来、令和3年に市消防団副団長として退団されるまで、43年にわたり、消防活動に尽力されました。団員の指導育成や地域での予防活動にも熱心に取り組み、住民の防災意識の高揚にも努められました。受章には「団員はじめ消防や防災など関係団体の皆さんに支えられたおかげです」と話されました。

－叙勲とは－

国家または公共に対して功労のある方に勲章を授与することを叙勲といい、毎年、春と秋に授与されます。



瑞宝双光章



瑞宝単光章

出典：内閣府HPより